

令和4年度 公民館の重点方針・事業について

資料3

1 公民館名 公民館

2 重点方針

1. いきいきとした人づくりの拠点となるよう、寄りやすい地域の居場所としての機能を充実させる。
2. 地域の方が、生きがいをもち、豊かな人生を送ることができるよう、楽しく学ぶための場・機会・情報を提供する。
3. 地域の親子が幸せに育つ場・機会・情報を多く提供する。
4. 利用者との協働による公民館運営を目指す。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	地域の絆づくり	“学び、活かす市民づくり”を実現するための学習機会を提供する。	・地域づくり型学習講座である【地域の絆づくり講座】を14講座開催して、公民館を拠点とした地域づくりをすすめる。 ・乳幼児から熟年まで、幅広い年代が学び集い、自らの気づきを通して、より良い地域づくりに貢献できる人材を支援する。 ・子育て、減災、環境など幅広い分野の講座を開催することで、地域の未来を考えるきっかけとする。	・コロナ禍においても、学びを止めない仕組みを検討する。 ・利用の少ない年代が、興味をもち、利用しやすい講座づくりを目指す。
	健康づくり講座	生涯にわたって健康でいきいきと暮らしていける学習機会を提供する。	・コロナ禍において、体も心も健康度をモットーに、仲間とともに楽しみながら「体を動かす」「心をリフレッシュする」7講座を開催する。	
	文化・教養講座	“いきいきとした人づくり”を実現するための学習機会を提供する。	・全11講座開催。これまで継続してきた各種講座に加え、新規講座を3講座開催。「講座企画委員会」の企画による利用者が学びたい講座を開く。	
	青少年健全育成推進	次世代を担う青少年が心豊かでたくましく自立するために、地域・学校・PTAと連携し活動する。	・各地域での子どもの活動を支援する。 ・視聴覚クラブの協力により地域巡回型「夏休み地域映画会」を開催する。 ・夜間巡回補導活動の実施。	「地域学校協働活動(CS)」の導入を視野にいれた、地域との連携を検討する。
文化	中央公民館まつり	1年間の学習成果発表の場、また、利用団体間の交流の場として開催する。	・利用者団体「中央公民館友の会」を中心とする実行委員会により運営を行う。日ごろの成果や活動内容を発表する。	・令和元年度から3年間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催となっているので、コロナ禍における開催方法を検討し、新たな形、持続可能な公民館まつり開催する。
スポーツ	学校施設開放	社会体育の振興を図るため学校施設の利用促進を図る。	・中津地区内5校との連絡を密にし、学校行事に支障のないよう利用者へ貸出しをする。 ・第二中学校、南小学校、西小学校の各施設の鍵貸出し業務を行う。	「地域学校協働活動(CS)」の導入を視野にいれた、学校との連携を検討する。
運営	利用者との協働	開かれた公民館となるよう利用者との協働で運営を考える。	・地域公民館運営委員会の開催(令和元年度設置) ・利用者懇談会の開催や利用者アンケートを実施し、利用者の声を運営に活かす。	・「友の会」の会員は、中央公民館を利用して定期的に学習を行っている 社会教育関係団体(講座・サークル等)及びその会員で構成しているため、協働する大きな柱となる組織である。 ・「友の会」役員を主とした構成メンバーで、『地域公民館運営委員会』を設置。運営の評価も行ってもらう。
	公民館活動のPR	中央公民館がたくさんの方の“学びの場”であることをPRする。	・中央公民館を活動拠点にしているサークルを広く紹介し、活動の継続につなげる。 ・「何かを始めたい! 学んでみたい!」と思い来館されるたくさんの方に情報を素早く提供する。	・サークル活動の一環として、ロビーコンサートやロビーの小展示、六斎市への出演などサークルの出番を増やし、利用促進につなげる。 ・サークルPRの掲示板の活用、サークル募集、発表会のポスター掲示チラシの設置等活動PRの場をより多く提供する。
	図書機能の検討	市立図書館移転後の公民館での図書機能の在り方を検討する	・令和5年度、(仮称)市民交流プラザへ市立図書館が移転した後、公民館の図書機能をどのように提供していくかを検討する。	・今年度は、図書館が移転準備で閉館となる期間、公民館で図書館サービスの一部を実施する。

令和4年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 苗木 公民館

2 重点方針

1. 気軽に出かけやすい公民館、皆さんにとって身近な公民館を創っていきます
2. 皆さんの「何かしたい、学びたい」を手助け、応援します
3. コロナ禍の中でもできる事業を工夫して行っていきます
4. 公民館に出かけられない人（地域）のために出かけていきます

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	教室・講座の開講	地域住民の学習要求に応える。仲間づくりへと発展させる。（サークル化）	地域の絆づくり講座（6講座）、健康づくり講座（3講座）、文化・教養講座（10講座）を開講。受講生の主体性を重視した運営を行う。	
	乳幼児学級ぴっころの開催	子育ての孤立化を防ぎ、仲間と子育ての楽しさを体験、学習	未就園児親子を対象に、地域の子育て世帯に呼びかけ、健康・安全・手遊びなどをテーマに学習・活動を行う。	
	出かける公民館講座の開講	公民館から遠方の地域の方へ学習機会を提供するため出かけ、事業を行う。	希望する各区を会場に、主に健康づくり、歴史、福祉等をテーマに学習する。	内容は地域のつながりを深めるものであること
	青少年健全育成活動	青少年の健全な育成を目的に、地域の大人の青少年理解を深め、地域活動へと促す。	青少年健全育成推進市民会議苗木支部を中心に、地域の諸団体との連携を進め、補導見守り活動、読み聞かせ活動等を行う。	
	交流スペース活用	区民の読書推進および交流、諸活動の場として開放	図書館との連携により、区民が気軽に図書に触れる機会をつくるとともに、ほっとしよくらぶを中心に活動の発表の場、学びの場として活用する。	交流スペースの活用について検討会を開催する
文化	第6回苗木文化交流まつり	地域の文化・芸能活動の発表の場として開催	2023年2月に作品展示、ステージ発表、出店のバザー等で公民館活動、地域活動の発表と交流の機会として開催する。	まち協教育文化部会で実行委員会を組織
	ギャラリーでのミニ展示会	館内の雰囲気づくり 身近な講師などの作品を展示し、意欲を喚起するきっかけとする	ロビー壁面をギャラリーとして活用し、ミニ展示会などを開催する	
スポーツ	苗木体育協会活動の支援	地域住民の一人一スポーツ活動を推進するための各種大会を実施	6月 ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、7月 バレーボール大会、9月 野球大会、10月 軽スポーツ講習会、11月 健康マラソン大会、1月 親子スケート体験等を実施	
	学校施設開放事業	学校施設の開放を行い、地域スポーツ活動を支援	苗木小学校・苗木中学校の体育館、グラウンドを開放し、クラブ活動、区民のスポーツ活動の推進を図る。	
運営	公民館運営委員会の開催	住民主体の運営・事業を目指し、協議をお香なう	地域、公民館利用者等の代表者で構成 事業や運営に対しての意見を生かしていく	令和3年度公民館事業の評価を実施
	利用者懇談会の開催	利用者等と職員の意見交流を行い、運営・事業に生かしていく	利用者の声を聞く機会と同時に、公民館の思いなども説明し、今後の運営・事業を充実させていく機会として開催する	年末には利用団体参加による大掃除を実施
	たより・ホームページ・SNSなどを使った情報発信	まち協・公民館の活動の情報を積極的に発信する	まち協・公民館の活動の情報を提供する機会として、たより発行、ホームページやSNSを活用したPRに努める	

令和4年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 坂本 公民館

2 重点方針

1. 公民館は、生涯学習の拠点施設として、地域の特性を生かした活動を重視し、その活動がいっそう充実するための連携や必要に応じた援助を行う。
2. 家庭教育の充実のため、乳幼児学級を開催し、親同士の交流を図り、親にとっての一大事業である子育てを支援する。
3. 青少年健全育成推進坂本支部と学校運営協議会などの子どもに関わる団体の連携を図り、青少年の健全育成支援と安心安全な環境づくりの推進に努める。
4. 生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と充実を図るとともに坂本体育協会等関係団体との連携を強化し、地域住民の健康の維持・体力づくりを推進する。
5. 伝統文化の保存継承と文化財等の地域資源の活用を関係団体と連携し推進する。

3	重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習		公民館講座の開設	住民の身近な学習や交流の場として生きがいつくりを支援し、地域づくり、人づくりの推進を図る。	趣味の教室や市民の生活に身近な課題をテーマに講座を開講し、人と人のつながりや、地域づくりボランティア活動への契機としていく。	市民の生涯学びたい気持ちを応援する。
		高齢者大学「はなのき大学」	高齢者が元氣よく、いきいきと暮らせるように、また積極的に社会参加できるように支援する。	市内外の講師を招き健康・歴史等の講話開催する。大好評の社会見学と歩け歩け大会は老人クラブのイベントと重ならないように企画していく。また自主サークルのカラオケ、民謡クラブなどを組織する。	受講生の活動記録を掲載した文集を発行する。
		青少年健全育成推進	市内で一番のマンモス小学校を抱える坂本地区として子ども会活動を支援しながら、人や地域を愛せる心を育む活動を目指す。	7月の社明大会、夏休み期間中の夜間パトロール活動、11月の子ども若者育成支援強調月間での独自の取り組み、1月の「家庭の日」の取り組みを推進する。	子ども会の親子行事に元氣キッズ事業を活用し、子ども会活動を支援する。
		図書コーナー	生涯にわたって学び、創造し、充実する人生を応援する。	情報サービス提供機能を強化し、図書館に出向けない利用者への貸出・返却体制を充実する。	暮らしの歳時記に合わせてコーナーをディスプレイしてPRしている。
文化		第47回公民館まつり	サークル・講座の利用者が活動した成果を広く区民に発表する場を提供し、学習意欲の向上を図るとともに、生涯学習の重要性を啓蒙し、地域力の向上を図る。	サークル・講座の利用者が実施主体となって、企画立案し、ステージ発表会と作品展覧会を開催する。	地域の団体である「飛翔の里」の合唱団等を招き、来場者と交流する。
スポーツ		第51回区民運動会 各種スポーツ大会 各種スポーツ教室	スポーツを通して区民の健康の維持、体力づくりへの関心を深め、地域住民相互の交流と親睦を図る。	坂本体育協会を実施主体とし、各地区から選出された体育委員を中心に区民運動会、ソフトボール大会等を開催する。また学校施設等を利用して、スポーツ教室を年間を通して開催する。	坂本体育協会が中心となって自主的に企画・運営が出来るように連携を図る。
運営		公民館運営委員会	公民館の管理や運営に対して充実を図る。	今日の激しい社会構造の変化の中で、市民の多様化・高度化する学習ニーズや生涯学習社会の進展等の新たな状況が生じている。その変化に対応する社会教育、公民館の在り方について意見を伺い反映させる。	社会教育委員等で組織する。

令和4年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 落合 公民館

2 重点方針

- 1.地域の人の交流拠点として幅広い年代に学習の機会と居場所を提供するとともに、地域の各団体と連携して地域力を高めるため支援する。
- 2.家庭教育及び青少年健全育成の充実のために、学校、家庭、地域と協働し子どもたちが安心して心豊かに育つ環境づくりを推進する。
- 3.地域の芸能文化振興を深める機会の提供とともに、歴史文化資源の活用に努める。
- 4.生涯スポーツ、健康づくりに取り組み、誰もが健康で安心して心豊かに暮らせる地域づくりを進める。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	地域の方が自主的に学ぶ意識を高揚させるとともに、仲間づくり、生活と健康の増進を図る	年間を通し各種教室・講座を開講 ・子ども(親子)で参加できる講座強化(乳幼児学級、リトミック) ・ミニボール筋トレストレッチ、太極拳、ベビーヨガ、健康料理教室、防災教室	
	キッズクラブ(乳幼児学級)	子育て中の親を対象に、仲間づくり・子育て・遊びなどを通して家庭教育の向上を図る 少子化社会の中で地域で子育てを支援する環境づくりを創出する	0～3歳児と親を対象に、季節の行事や遊びと学び(親子の関係・あいさつ・行動・躰など)を組み合わせ、家庭教育の充実と同年代の仲間づくりを進める。また、毎月1回1年間の活動を通して自主的な運営意識を高める	
	青少年健全育成活動	青少年の健全な育成を目的に、地域の大人の青少年理解を深め、地域活動へと促す	青少年健全育成推進市民会議落合支部を中心に、地域の諸団体との連携、保・小・中学校との連携を進め、三世代交流事業等を行う。	落合小学校コミュニティスクール(R5スタート)との連携検討
	コミュニティルーム活用(図書ルーム)	区民の読書推進および交流、諸活動の場として開放	図書館との連携により、区民が気軽に図書に触れる機会をつくり、学びの場として活用する。 だれでも気軽に利用できるスペースにする	
文化	落合公民館まつり	落合公民館利用者の成果発表の場、かつ落合地域全ての方の芸能文化の発表及び交流の場とする	ステージ発表と作品展示会の2部構成。 活動団体の成果を発表する場とするとともに子どもからお年寄りまで誰からも親しまれるまつりとして開催する	
スポーツ	生涯スポーツ、健康づくりの推進	地域住民の健康維持・増進と仲間作りを支援する	誰もが健康で安心して心豊かに暮らせる地域づくりを進める	地域の健康推進員とも連携を図る
	学校施設開放事業	学校施設の開放を行い、地域スポーツ活動を支援	落合小学校・落合中学校の体育館、グラウンドを開放し、クラブ活動、区民のスポーツ活動の推進を図る	
運営	公民館運営委員会	日頃の公民館利用者の声を受けとめ、公民館の管理・運営に活かす	委員会の設置をめざす	

令和4年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 阿木 公民館

2 重点方針

1. 公民館を拠点に地域住民の日常的な学習活動の場として、地域づくり・人づくり・生涯学習の拠点となる公民館を目指す。
2. 家庭教育の充実のため子育てサークル等団体を支援する。
3. 地域ぐるみの青少年の健全な育成として、安心安全な環境づくりの推進に努める。
4. 生涯スポーツ・レクリエーション活動の充実を図るとともに、健康で心豊かな地域づくりを行うため関係団体との連携を強化する。

3	重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
	生涯学習	公民館講座	学習や交流をとおして人と人とのつながりや地域づくり・生きがいがづくりへつなげる。	年間を通して各種教室・講座の開講(各2回～6回) バランスボールエクササイズ教室、花の里大学、つまみ細工初心者・上級者教室、健康と食教室、季節を感じて阿木散歩教室	地域住民の意向を把握し、地域づくり・健康づくりとなる講座を開設する。
		乳幼児学級【未就園児と保護者】	子育てに関する学習や遊びから親子の交流を深め、仲間づくりや家庭教育の向上を図る。	乳幼児学級では、全ての対象者が家庭教育の場に集い、交流できるよう取り組む。(6月～3月 8回開催) サークルわくわく広場の支援	会員同士の交流を深め、互いに子育てを助け合う体制作りを支援する。
		みちくさ教室(阿木子ども公民館)	子どもたちの様々な体験、学習、交流をとおして健全な育ちを支えると共に、子どもと公民館との関わりを深める。	ものづくり、体験教室、防災教室、体験をとおして作法を身に着けたり、地域の大人との三世代交流などを行う。放課後居場所作りでみちくさフェスタ等を開催するほか地域事情に合わせた支援をしていく。	青少年阿木支部、阿木地区社協、ふるさと福祉村の児童サロンとも連携して実施する。
		青少年健全育成推進	小・中学校や地域と連携し青少年の育成活動を推進する。子どもの放課後居場所づくりを行い安全を図る。	区長会、地域の役員、老人クラブと連携しながら三世代交流事業を行う。子どもたちが放課後等に安心して過ごせる居場所づくりを整備する。	地域には学童や児童センターもないため子どもの放課後の安全な環境を整える。
		図書館祭り 図書展示コーナー	地域の方が気軽に立寄り本を手にとれて集える場所にする。	年1回祭りをを行う。中津川市図書館と連携し児童図書の充実を図り、利用者の声を反映させる。展示等目を引くものにしていく。	住民の憩いの場所とする。
	文化	阿木文化祭(展示・ステージ発表会)	地域の文化振興と住民の意識の向上を図る。	日頃の活動を発表する場として、12月に、書道、俳句、華道などのほか保育園、小・中学校の児童・生徒の作品を展示する。また、同時に民謡やコーラス、カラオケなどのステージ発表を行う。	阿木文化連盟や公民館を活動拠点とする団体と連携・協力して事業を推進する。
	スポーツ	スポーツ大会 スポーツ教室・健康づくり	阿木地域の住民(子どもからお年寄りまで)の健康増進、体力向上、親睦を図る。	阿木区民運動会・ノルディックウォーキング・スケート教室・新春マラソンの運営を行う体育協会の支援を行う。	阿木体育協会との連携・協力
	運営	公民館運営委員会	公民館の運営、事業に地域住民の声を生かし充実を図る。	地域の声・利用者の声を反映させる為に、公民館運営委員会を開催し意見交換を行う。	公民館評価を実施する

令和4年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 神坂 公民館

2 重点方針

1.人づくり、まちづくり、健康づくりに活かす生涯学習内容の充実と環境整備の充実
2.神坂の文化を守り伝える事業の充実

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	学習の場をとおして教養を身に付け、心と体が潤い豊かな生き方に結び付ける。	多くの地域住民が気軽に参加でき、学習機会と仲間づくりの場を提供する。	
	青少年健全育成推進	地区内の関係する団体、機関と連携し青少年の健全育成と非行防止にかかわる活動の推進を図る。	青少年健全育成推進市民会議神坂支部を中心に、親子クリーンキャンペーン(環境美化空き缶拾い)&マスカみ大会、かるたとり大会等を行う。	
文化	ふるさと神坂総合文化祭	学校・地域住民が文化活動の、成果発表の場を通じ、地域交流を図る。	幼・小・中学校と神坂地区住民の合同参加による作品展示とステージ発表を支援する。	
	読書・読み聞かせ	文豪島崎藤村を身近に感じ、多くの本に触れ、心を豊かにする。	馬籠出身の文豪「島崎藤村」と童話作家「宮口しづえ」の図書や藤村かるたに触れ合う場を提供する。	
スポーツ	神坂学校・地域親善大運動会	学校と地区住民と地区団体が一体となりスポーツで親睦を深める。	幼・小・中学校と神坂地区・消防団・老人クラブ等が参加し、地域全体として行う運動会を支援する。	
	親子スキー教室 リバーサイドマラソン	親子・地域の絆を深め、健康増進と体力向上を図る。	体育協会神坂支部が開催する親子スキー教室・リバーサイドマラソンに協力、支援する。	
運 営	調整会議	学校・地区・各団体の行事が重複しないようにする。	幼・小・中学校・地区(神坂・馬籠地域)・各種団体による主要スケジュールの調整を行う。	
	公民館運営委員会	地域住民がより利用しやすい公民館にする。	公民館運営委員会を開催し、地域住民のニーズに答えられるような公民館にする。	
	広報みさか発行	神坂地区内の情報提供と、公民館活動の理解を深める。	地域の情報や公民館活動などを毎月1回「広報みさか」に掲載し全戸配布し、HPにもアップし情報提供を行う。	
	図書室の利用拡大	・図書室のPRを行い利用拡大を目指す。 ・読み聞かせを通じて親子のふれあいを深める。	・広報みさかに毎月「図書だより」を掲載し、図書室のPRを積極的に行う。 ・乳幼児を対象にした絵本などを充実させ、親子で利用しやすい図書室にする。 ・神坂地区出身の文豪「島崎藤村」と童話作家「宮口しづえ」の図書コーナーを充実させ広く地域住民に知らせる。	

令和 4 年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 山口 公民館

2 重点方針

1. コロナ禍で地域住民の交流が希薄となる中、地域の住民が気軽に集うことのできる公民館、地域づくり・人づくり・生涯学習の拠点となる公民館を目指します。
2. 地域の子供は地域で守り育てる、青少年が健やかに育ち自律できる環境づくりに努めます。
3. 地域における活動や人材を結びつける活動を通し、活気のある楽しいまちづくりに取り組みます。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	地域づくり学習	子どもからお年寄りたちの居場所づくりと、質の高い、幅広い学習可能な機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「乳幼児学級」では、同年代の乳幼児を持つ母親の交流の場を作り、親子のふれあいとママ友の輪を広げながら子育てを楽しく学べる場を提供する。。 ・熟年者が交流を深めながら、生きがいをみつけられるような講座を開設する。 	やさか地区で合同講座を開催する。
	健康づくり講座	生涯健康でイキイキとした生活を送るための支援をする。	「料理教室」「体操」「ヨガ」「脳トレ」など、自分に合った選べる健康講座を多種開講する。	
	文化・教養講座	知識・技術・趣味を取得し感性を高めることで自身の充実したライフワークに繋げる。	教養、技術に関する講座を開講、趣味と娯楽を共存させた楽しい環境を提供する。	楽しく学んでもらえることを重視、無関心層の取り込みを狙う。
	青少年健全育成の推進	山口の地域性(少子高齢)を考慮しながら地域全体で子供たちの育成を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、PTA、まち協、地区社協、老人クラブなど地域の団体と連携し、子供たちの育成に努める。 ・「危険場所調査」「街頭啓発」「教育の集い」などの活動に参加。 ・長期休みを利用して子どもの思い出となる行事を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やさか地区合同で青少年健全育成啓発活動を実施する。 ・「地域のおじさん、おばさん運動」の推進
	図書の充実	児童図書を充実させ、子ども達に読書の楽しさと興味を高め、豊かな心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、小学校への「出前図書」を継続、季節・流行・年代層別などニーズに沿った図書を定期的に配本する。 	アンケートを実施しながら子どもたち、先生、保護者のニーズを把握し更新していく。
文化	地域文化の振興	地域の文化・芸能活動を支援することにより住民の伝統文化の意識を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・山口地区「文化芸能祭」の開催に向け支援する。 ・小学生の和太鼓発表会への支援 	
スポーツ	地域住民のスポーツ活動	スポーツにふれる機会を提供することで地域住民の交流と継続可能な健康づくりを図る。	山口体育協会と連携し、軽スポーツ大会、ウォーキング、卓球教室など子供から大人まで気軽に参加できる運動活動を支援する。	健康づくりの活動に、より多くの参加を目指すべく無関心層に呼びかける。
運営	公民館運営委員会	公民館の管理・運営を円滑にする。公民館活動の活性化を図る。地域の拠点となる公民館を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の利用者を中心としたメンバーで、年2回の会議を実施する。 ・委員の声を聞きながら時勢・地域性を考慮し、新たな環境を創りだすこと。 	総合事務所・区長会・まち協・地域の住民・地域の団体との連携を図る。

令和4年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名

坂 下

 公民館

2 重点方針

1. 人づくり…今日的な課題や、地域住民の要望を把握し、人づくりの拠点として地域の実態に即した活動に取り組む。
2. 絆づくり…講座の開設、子育て・家庭教育の支援、その他の行事を通して、地域の教育力の向上と人々の絆の強化を図る。
3. 地域づくり…やさか地区関係諸団体との連携による青少年健全育成の推進を図る。地域連携強化による公民館活動、スポーツ事業を推進する。

3	重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習		乳幼児学級(ほほえみ教室)	未就園児の親子を対象に、子育てを通じた仲間づくりと学習・情報の交換を行い、家庭の教育力を高める。	月二回の定例学級と班活動により、乳幼児期からの家庭教育の支援と学習の場、仲間づくりの場の提供を行う。 やさか地区合同の乳幼児学級も2回程度設定する。	受講者の発想を大切にすると同時に、地域の人材を積極的に活用し地域間交流を図る。
		公民館講座の開催	学習機会と仲間作りの場を提供し、地域づくりボランティア活動へのきっかけを作る。	参加した講座の学びを通して生きがいの充実を図るとともに、新たな絆づくりをすすめる。	楽しく学ぶことのできる講座の開設を考える。
		やさか合同講座 (文化歴史ウォーキング・わくわく体験クラブ・福祉体験等)	やさか地域の小中高生・保護者・地域住民が体験・制作活動を通して交流を深める。	ウォーキングを通して地域の自然・歴史・文化に触れる。 地域の達人の指導で創作活動・科学実験等の各種体験に挑戦する。	興味・関心のもてる多様な体験活動を設定する。
		青少年健全育成活動	青少年の健全育成のために、啓発と実践活動を通して、地域ぐるみで子どもを育てる意識を高める。	危険個所の点検・街頭啓発活動、登下校の安全確保等の実施。 「やさかじまんカルタ」の募集と作品展示によりふるさとの良さを広める。 読書活動の推進と読書活動の支援をする。	地区(10)ごとに委員選出、やさか地区合同での啓発活動を実施。
		教育のつどい・青少年健全育成推進大会	「やさかの子は、やさかで守り育てる」を合い言葉に、青少年の健全育成をめざして地域の諸団体の連携を図る。	園・学校・家庭・地域社会が情報を発信・共有しあい、青少年に関わる一貫した取り組みを行う。様々な活動を通して意思統一を行う。	10月29日予定、やさか地区小中学校授業参観、実践発表または講演会の予定。
		図書室まつりの開催	子ども達の読書への興味と関心を高め、豊かな心を育む。	公民館図書室を知ってもらうきっかけづくりと、本の楽しさを広げる企画を工夫する。	小中学校夏休み期間中を予定。 やさか3館図書室の連携(図書室巡り)
文化		「花馬まつり」(坂下)の保存・伝承	無形民俗文化財の保存と継承に努め、郷土愛を育む。	「花馬まつり」の保存と継承に地域を挙げて取り組み、連帯意識の高揚を図る。毎年10月の第二日曜日に開催。	囃子方、子ども手踊り等の練習場所の確保に留意する。
		歴史・民俗資料の保存・伝承	地域に伝わる文化遺産の保存と継承を図る。	文化財保護団体と連携し、既存資料の記録・整理・保存に努め資料館を積極的に活用する。広報・宣伝活動を通して資料館来館者の増加を図る。	坂下民俗資料保存会と連携し、椀の蔵の整理、展示、維持、運営方法を考究する。
		文化事業	文化祭・芸能祭・地歌舞伎の公演などを支援し、その継承と保存に努める。また、後継者の育成にも力を入れる。	年一回、文化祭・芸能祭を開催する。歌舞伎公演会には、子ども歌舞伎公演なども行い、後継者の育成を図る。	10月に芸能祭、11月に文化祭・歌舞伎公演を予定。それぞれの団体が開催する活動をサポートする。
スポーツ	生涯スポーツ・健康づくりの推進	スポーツを通して子どもから大人までのふれあいの場と健康づくりの場を提供する。	スポーツ団体の公民館利用を進め、健康で心豊かに生活できる地域づくりをめざす。	坂下総合体育館、やさかイキイキ倶楽部との連携を図る。	
運営	公民館運営委員会	公民館等の管理や運営に地域住民の声を活かし充実を図る。	委員会・日ごろの公民館利用者・会議の機会などから、利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。	総合事務所・区長会・まちづくり協議会、保・小・中・高との連携を図る。	

令和4年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 川上 公民館

2 重点方針

1. 家庭教育の充実
2. 青少年健全育成活動の推進
3. 公民館講座の充実
4. 文化スポーツ活動の支援

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	乳幼児家庭教育学級	就園前の乳幼児を持つ親たちの自主学習・講座・情報交換を通じた仲間づくりを進める。	・月一回開催(やさか地区合同学級年2回含む) ・川上で開催する乳幼児学級に坂下・山口地区の親子も参加できるように、日程調整等行い、多くの参加者を募る。	保育園児との交流会
	公民館講座の開設	学習を通じて個々の能力の活動や世代間交流を図るとともにサークル化を目指す。	若年層から高齢者までの学習機会と仲間づくりの場を提供する。	リトミック・手織り体験・夕森講座・歴史講座・星空散歩・骨盤ヨガ・ピラティス・フランス文化交流会・やさか合同公民館講座
	青少年健全育成事業(川上)	関係団体や地域との連携を密にし、青少年健全育成を推進する。	支部連絡会を開催し、小中学校・警察・子供会等諸団体からの現状報告を聞いて対策を考える。	保育園・小学校・中学校へ図書への寄贈
	青少年健全育成事業(やさか)	やさか地区が連携し、地域全体での青少年活動への意識向上を図る。	やさか地区の公民館が連携を取り合って、情報収集・会議運営・諸行事等の支援を行う。	挨拶運動・街頭指導・危険箇所点検・やさか教育のつどい・やさか図書めぐり・ふるさとじまんカルタ
	青少年ボランティア参加促進事業	地域の一員として活躍できる場を提供し、ボランティア活動の成就感体験を図る。	公民館が架け橋となり、まち協・体協・文化協会・区長会等の事業に参加を求め、地域の大人と一緒に活動する。	区民運動会・文化芸能発表・夕森もみじまつり・防災訓練
	公民館図書室活動	住民に学びの場を提供し、図書室の利用拡大をさらに進める。	読み聞かせサークル「しゃぼん玉」の読み聞かせ・図書室まつりの実施、保育園・小学校・診療所との連携を強化する。	図書室まつりは年1回実施。本を参考にした工作等を入れる。
文化	文化活動の支援	地域の文化芸能活動の活性化を図る。	発表の機会を増やし、活動意欲を増加する。	文化協会の自立・文化祭
	文化財の発掘・保存	地域に現存する文化財の発掘・保護に努める。	収集した文化財を整理・保存してその価値を再認識する。	史料収集と整理。
スポーツ	区民運動会	スポーツを通じて老若男女が一堂に会し交流を深める。	体協が主導し、まち協を中心に区長会・体育推進員・当諸団体が協力して盛り上げる地域の一大イベント。	住民の半数が参加する。
	軽スポーツ大会	軽スポーツを通じて地域間・世代間交流の推進を図る。	ビーチボール大会、グラウンドゴルフ大会(春秋の2回)	主催は体育協会が青少年健全育成市民会議川上支部は協力する。
運営	公民館・図書室の運営	地域の特徴を生かした活動の活性化と地域住民の意見を大切に運営を進める。	公民館、図書室の利用者・会議の機会などから、利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。	総合事務所と公民館の連携の強化を図る。

令和4年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 加子母 公民館

2 重点方針

- 1.家庭教育力及び地域教育力を高めるために、関連する各組織がお互いに連携できる機会を提供し、支援する。(家庭教育)
- 2.青少年育成区民会議活動を充実し、子ども達が地域活動に参画し、体験を通して地域への愛着を醸成できる情報や機会を提供する。(青少年健全育成)
- 3.生涯学習活動を支援し、地域の人材発掘や街づくりに参画する市民活動の拠点づくりを推進する。(地域拠点活動)
- 4.スポーツ・レクリエーションや公民館講座を通じて地域の人々の健康を基礎とした人づくりを推進する。
- 5.伝統文化の継承を支援する。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	家庭教育推進(家庭教育)	幼児期の子どもを持つ親を中心に家庭教育に対する正しい知識を身につける。	乳幼児学級は学びの場を中心に展開し親育ちの支援を行う。また、自主運営を行っている子育てサークルの相談や指導を行い円滑な運営ができるようにする。 おもちゃ病院を開設して物を大切にすることを教える。	東白川・白川地区(9月)、付知(10月)との地域間交流を当地区で実施。
	加子母教育の日(家庭教育)	地域の教育力を高め、地域で子育てを目標に地域教育の継続・充実を支援する。	地域の人々が、地域のことを、地域の子どもたちに教育する。家庭・学校・地域が一体となって子どもの教育を実践する活動。	通常11月最終日曜日に開催。
	青少年健全育成事業	地域の中で小集会活動を充実し、地域全体で青少年健全育成を実践していく。	挨拶の推進・安全安心・花づくり事業・各組織連携の合同会議を開催し、実践して行く。	10地区に青少年健全育成区民会議を区長中心に設置している。
	風起こし事業	明治座を核とした文化による地域づくりのため、地域の芸術文化向上、コミュニティー醸成、交流促進、全国への情報発信を図る。	明治座の通年開館により、文化財の保護と地域文化の継承、地場産業や観光事業を振興し地域の活性化を図るためのイベント等を実施する。	定期歌舞伎公演、明治座クラシックコンサート、明治座アートトリエンナーレ(3年毎)等
	公民館講座	地域のニーズに適応した講座を開発し、地域の人の知職や技能の習得、健康づくり等に貢献する。地域の人材発掘と活用を促進する。	受講者の多い講座や新規講座を通じて地域の人の学習ニーズに応える。当年度は特に、地域の人による講座及び講師を開発し、地域の人材発掘を通じて地域活性化に貢献する態勢を拡充する。「健康寿命を延ばす」を重項目にする。	気軽に講座を開講できる「お試し講座」を継続して試行し、講師発掘と講座開発を行う。
	図書室の利用向上(読者する人を増やす)	総合事務所内に併設した図書室として、幅広い年齢層の利用を促すことにより読書活動を推進につなげる。	「読書のむらづくり」を掲げ、地域内の読書習慣を醸成していく。「わくわくする図書室」をテーマに利用者の来室促進、充実した図書の提供などにより、利用者の増加を図る。また、定期的に「夜カフェ」や「図書室まつり」等のイベントを実施する。	図書ボランティア「ひなたぼっこ」と共同して「図書室だより」を毎月全戸配布して広報を充実を図る。
文化	伝統芸能保存活動	地域の伝統芸能の保存と、次世代へ継承を行う。	歌舞伎・木遣り・獅子舞・さいとり刺し・獅子芝居等の伝統芸能の保存伝承を行う。子どもたちの参加を促し、後継者の育成を進める。	9月に明治座で歌舞伎公演、各区の神社祭典で獅子舞奉納等を行う。
	文化協会事業	地域住民の文化芸術思想の高揚と会員相互の研修と親睦を図る。	14の文化団体が構成し、成果の発表と各団体の交流を図るために文化祭を開催する。	10月に文化祭を開催予定。
	「史・民俗資料」の保存・伝承	地域ボランティアの力を借りて、地域史・民俗資料の整備・保存・伝承を図る。	「郷土館」を中心に加子母地域の古文書資料の整理、民俗資料の整理や展示を行い、保存及び伝承をする。尾張藩山守内木家の古文書の解説を進める。	「郷土館」は、地域ボランティアの協力により資料整備を継続中。山守内木家の古文書の解説を実施中。
スポーツ	スポーツ少年団活動	スポーツを通じて、子どもの健全育成を図る	4種目のスポーツ少年団を指導員と保護者で構成する育成会との連携を深め、子どもたちの健全育成を図る。	野球・剣道・弓道・スキーの4種目で小学1年～中学生を対象に団員募集し活動する。
	加子母体育協会事業	一般スポーツを普及し体力増進と健康増進を図る。体育協会が中心となり地区体育祭を開催し住民の親睦と健康増進を図る。	青少年に対し、スポ少と連携して強化を図るとともに、一般競技者の技術向上を図る。また、軽スポーツ等の普及に努め体力づくりの機会を増進する。地区体育祭は10地区対抗で開催し、スポーツを通じたコミュニティづくりを行う。	体育推進委員が活躍して普及している。また、体育祭は地域住民が集まる加子母で最大の行事である。
運営	公民館・図書室の運営	公民館・図書室の管理や運営に利用者や運営委員の声を活かす。	公民館や図書室の利用者の意見を反映し、管理や運営に活かす。公民館運営委員による公民館活動の評価やアドバイスなど第三者による意見を反映させる。	担当者による自己評価、運営委員による評価を通じて改善に取り組む(中間・年間評価)。評価情報は住民に公開。

令和4年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 付 知 公民館

2 重点方針

1. 地域の人々の交流拠点として、幅広い年代層に学習の機会と場所を提供するとともに、地域づくり・人づくり・つながりづくりの拠点として親しまれる施設の運営を目指す。
2. 家庭教育の充実のために地域の子育て支援団体と連携・協働し、子育て支援活動に取り組む。
3. 青少年の健全育成を推進するために、青少年健全育成付知支部の活動を強化するとともに、地域全体で子供を育てる事業を実施する。
4. 地域伝統芸能継承団体及び文化団体の活動支援を行うとともに、地域の文化財を後世に継承していくための文化財保護活動の支援に取り組む。
5. 総合型スポーツクラブとの協働により生涯スポーツ活動を推進し、健康で豊かな人づくりを目指す。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	地域住民の学習や交流の場として生きがいづくりを支援し、地域づくり・人づくりの推進を図る。	地域づくり講座、文化スポーツ講座、夏・冬休み子ども講座等各種講座を実施する。夏・冬休み子ども講座では、世代間交流や子どもの地域学習の場を提供する。	地域住民の意向を把握し、地域づくり・健康づくりとなる講座を開設する。
	青川フェニックス大学【高齢者大学】	高齢者の知識向上と生きがいづくりを目指し、仲間づくりと学習する機会を提供する。	大学の講座開講は運営委員会における自主運営で行い、学生の生涯学習、健康の維持・増進等を図る講座を開設する。今年度で25回目の開講となる。	令和3年度普通部4講座専門部12講座受講希望者延べ212名の受講希望者があった。普通部講座回数半減。専門部も約半分休講。
	乳幼児学級	乳幼児とその親たちに家庭教育と情報交換の場を提供し、子育てのノウハウやコミュニケーション能力の向上を支援する。	未就園児の親子を対象に毎月1回開催し、季節行事や交流・講話等を実施し、家庭教育の学習と情報交換の場を提供する。	すくすくわくわくまあるいこころ、地域の託児ボランティアの協力を得て運営している。
	青少年健全育成事業	地域団体と連携して青少年の健全育成と安全確保ができる活動の推進を図る。	夏休み夜間パトロール、危険箇所の点検、あいさつ運動、スポーツ少年団駅伝交流会、ハツラツウォーキング、インリーダー研修会、付知町書き初め大会、児童版画コンクール、子ども会支援等の事業を実施する。	区長会、PTA、学校、保護司、民生児童委員、更生保護女性会、各区推進委員等が連携して活動している。書き初め大会はこの2ヶ年自宅で書いて学校を通して提出してもらった方法で行い参加人数が増加した。
	図書室の利用促進	地域の方に親しまれ、便利で気軽に利用できる図書室を目指す。	①市民への情報提供：図書室だより、企画展示 ②地域連携事業（学校、NPO、放課後学童クラブとの協働事業） ③利用者へのフォロー：図書検索、予約等 ④読み聞かせサークルの支援 ⑤ボランティア団体との協働（本の展示やポップの作成等）	学校、NPO、放課後学童クラブ、ボランティア団体との協働により公民館図書室の利用促進、読書の促進を図る。年2回図書室イベントを提出参加型を行い多くの参加を得た。
文化	伝統芸能保存事業	地域の伝統芸能の普及と、次世代へ伝承できるように支援する。	木曳音頭、翁舞、三輪神楽、おんぼい節などの伝統芸能を後世に正しく伝承するため、保存会と連携して、活動やイベント等への出演の支援を行う。	後継者不足を解消するため学校との連携を進め、発表・交流の場を増やす。活動しやすい様協力する。
	文化祭事業	文化芸能活動を支援し、地域の文化振興と住民の文化意識の向上を図る。	文化協会が主催で、市民の文化活動の発表の場として催しており、作品展示と芸能発表を合同し二日間かけて開催している。	令和3年度文化協会団体27団体、会員人数延べ292人。R3年度は文化祭を中止。
	文化財保護事業	文化財を保存し後世に継承していくとともに、普及・啓蒙活動を支援する。	文化財保存会を中心に、地域の文化財を保存・継承していくために、文化財の手入れや環境整備、中学生の見学会、ふるさと巡回ツアーの実施を支援する。	文化財保存会が地域の史跡顕彰看板を設置。（12か所）R3年度は除幕式を行った。
スポーツ	生涯スポーツ推進事業	スポーツを通して健康づくりと体力づくりへの関心を深め、子どもから高齢者までの健康増進と地域交流を図る。	総合型地域スポーツクラブとの協働により、各種スポーツ大会や教室等を開催するとともに、スポーツ少年団、体育協会のスポーツ活動を支援する。	令和3年度実績スポレク祭2種参加者目、47人。4年度4/9に春のウォーキング大会開催。桜満開の中57名の参加。
運営	公民館運営委員会	地域の特色を活かした活動の活性化と、地域住民の意見を活かした運営を行う。	公民館運営委員会を開催し、その意見を公民館活動に反映させる。	保・幼・小・中の保護者を対象とした公民館に関するアンケートを実施。
	公民館情報発信	地域住民に公民館活動の周知及び興味を持ってもらうため。	図書室の情報はじめ公民館活動、行事、講座などの案内や報告を掲載し「付知公民館だより」として発行。	毎月全戸配布を行っている。
	公民館の指定管理	まちづくり協議会が公民館と一体的に活動することで、住民の意向を的確に反映した公民館運営を行い、人づくり、地域づくりを通して地域の活性化につなげる。	30年度から付知町まちづくり協議会が付知公民館の指定管理を実施している。公民館の設置目的、及び管理運営方針を十分に理解し、公民館活動の向上に努める。	

令和4年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 公民館

2 重点方針

1. 住民の学習要求や地域課題に対応し、地域の活性化と人間性豊かな社会の形成を図る重要な拠点として、主体的で特色ある運営を推し進めます。
2. 豊かさや活力にあふれる地域づくりのために、関係機関や団体、ふくおかまちづくり協議会等との連携を一層強化します。
3. 「地域学校協働活動」推進のために関係機関や団体との連携を深めます。
4. 伝統文化の継承と文化団体の育成を支援します。
5. 指定管理施設（公民館、常盤座）の管理と、活用による地域づくりに貢献します。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	住民の学習の機会を提供するとともに、参加者の交流や生きがいづくりを行う。	地域づくり・健康づくり・文化教養講座で多くの皆さんに参加していただける講座を企画運営する。	講座終了後、参加者からアンケートを実施し、講座の充実を図っていく。
	乳幼児学級 (おひさま広場)	子育てに関わる学習や遊びから親・子同士の交流を深め、仲間づくりや家庭教育の向上をはかる。	学びながら親子のふれあい、親同士のふれあいをテーマに季節の行事や体験活動、講演など、月1回の本活動と月1回の自主活動を行い、様々な企画で開催する。	参加者の自主活動で行われ、リーダーを通して事前打ち合わせを行い、連携しながら運営していく。
	熟年ふれあい学級	毎日をより豊かに過ごすことができるよう、仲間づくりと学習する機会をつくる。	楽しみながら体験活動ふるさと学習を開催するとともに見聞や知識を広める研修会を年2回開催し親睦交流を更に深める。	役員主導により年9回楽しい体験活動ふるさと学習などを企画実践していく。
	福岡中学校区家庭教育学級	家庭教育力の向上のため家庭、学校、地域が一丸となり子育てを推進する。	福岡中学校区の各学校と公民館が一带となり気軽に学びあう語り合う機会をつくる。	公民館を会場として、年間3回の講演会を開催する。延べ200人以上の参加者を目指す。
	青少年健全育成推進活動	地域、学校、家庭が連携し、青少年の健全育成に努める。福子連の自立と育成及び地域子ども会の自主的活動を支援する。	社明運動や各分会においての健全育成活動、補導活動を実施する。福子連（福岡子ども会連絡協議会）主催の行事や子ども夏祭りinふくおかへの協力を行う。	保護司、更生保護女性会、民生児童委員、学校、PTA、青少年健全育成推進員、育成員が連携して活動し、次世代を担う子供たちの育成を支援する。
文化	文化活動事業（文化展）	地域の文化振興と住民の文化に対する意識の高揚と技術の向上を図る。	ふくおか文化協会が主催する、文化系サークル8団体の活動の成果発表の場、地域住民の文化活動作品展示、公民館特別展などの場として、毎年2日間にわたって文化展を開催する。	200名以上の方の出品で、2,000名以上の来場者を目指す。
	芸能活動事業（芸能祭）	地域における文化芸能を広く普及し、各団体間の交流と親睦を深める。	ふくおか文化協会に加盟している芸能系サークル12団体の活動の成果発表の場として、毎年3月の第1日曜日に開催する。	500名以上の方の来場を目指す。
	福岡文化財保護事業	地域内の文化財等の保護及び郷土史編纂活動を支援推進する。	文化財保護団体・郷土史編纂委員等の活動支援を行なう。	年2回の巡視活動及び保護活動の支援。 月2回の郷土史資料編纂作業の支援。
	伝統芸能保存事業 (常盤座歌舞伎保存会)	地歌舞伎の保存伝承と後継者の育成を図る。特に子ども歌舞伎教室の開講による、子どもたちへの伝承活動を支援する。	常盤座を訪れる方へ歴史的建造物と地歌舞伎のPRを行い、毎月第1日曜日に一般開放している。常盤座歌舞伎保存会が毎年3月最終日曜日に開催する歌舞伎定期公演及び子ども歌舞伎教室発表会の支援を行なう。	常盤座保存会、常盤座歌舞伎保存会、歌舞伎子ども教室、常盤座棧敷会（支援団体）活動を積極的に支援する。観光バスツアーで来客や問い合わせの対応を行う。
	ニッ森ふれあいクラブ活動	地域住民が主体となって、企画運営しているニッ森ふれあいクラブを更に発展させ育成支援する。	文化系（2クラブ）、スポーツ系（12クラブ）とも年間を通じて活動する当該クラブの支援と、子ども夏祭りinふくおか（8月）及び体験会（2月）を開催	小・中学生会員約200名、指導者約50名で活動している。福岡地区外の子どもたちも参加している。
スポーツ	福岡体育協会事業	体育協会をサポートすることにより住民の健康増進とスポーツの普及を図る。	各種スポーツ大会（市体育大会・スポレク祭・バレーボール・ソフトボール）及び元旦マラソンなどの開催支援を行う。	各種スポーツ団体として13クラブあり、年間を通して活動している。
運営	公民館運営委員会	中津川市公民館の設置等に関する条例により、福岡公民館に運営委員会を設置する。	運営委員会では、公民館運営を評価して頂いたり、地域や利用者の視線から公民館運営の助言をいただく。	公民館を利用する各分野の団体から11名、地域の利用者から2名の委員合計13名の委員を委嘱し、公民館運営委員会を組織している。
	公民館の環境の充実	来館者の方に、季節感を感じてもらったり公民館の玄関やロビーの雰囲気を楽しんでもらうために環境の充実を図る。	グリーンカーテンの設置、季節感のある展示や飾り、ウンドウギャラリーの展示、玄関の植物を育てるなどを実施する。	文化協会の団体や公民館講座生、地域のサークルなどの方々からウンドウギャラリーに出展している。玄関の植物には下野小児童の育てた花がある。
	公民館活動の情報発信	地域の住民に福岡公民館を知ってもらうために公民館から情報発信をする。	福岡公民館の活動内容・お知らせなどを福岡公民館だより・福岡公民館ホームページで情報発信する。	福岡公民館だよりは毎月カラーで全戸配付している。ホームページは、随時更新する。
	図書室の充実と活用	地域の図書館としての機能を充実させるとともに利用しやすい図書室を目指す。	利用しやすい図書室にするとともに、保育園・小学校などと連携し、利用者の増加を目指す。図書室まつりを開催し読書の普及に努める。	図書室の利用者、貸出冊数の推進を図る。

令和4年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 蛭川 公民館

2 重点方針

<p>1 楽しく学ぶ仲間づくりと生きがいつくりの場に … 様々な学習活動・機会の企画運営と支援</p> <p>2 いつでも、だれでも、気軽に利用できる公民館に … 地域づくり、人づくりの拠点を目指す</p> <p>3 人と人がふれあう仲間づくり・健康づくりの場に … 気軽に参加できる文化・スポーツ活動の企画運営と支援</p> <p>4 青少年が健全に成長できる環境づくりの取り組みを … 学校・家庭・地域の連携を推進する</p>	<p>☆公民館講座の更なる充実を通して</p> <p>☆蛭子座の積極的活用を核にして</p> <p>☆地域のネットワーク化を目指して</p> <p>☆蛭川勤彊未来塾(OS/地域学校協働活動)を生かして</p>
---	--

3	重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
	生涯学習	乳幼児学級【あそびの広場】	親子でのふれあいを通して、子育てと仲間づくりを支援する。	月毎の乳幼児学級で、遊びや学びの場を通して親子のふれあいや親同士の交流を行う。	実情や要望を把握して、楽しく役に立つ企画に努める。
		公民館講座	講座を通して、仲間づくり、生きがいつくり、地域づくりへつなげる。	地域の絆づくり、健康づくり、文化教養講座を中心に、住民の学習要求に沿った学習機会を企画運営する。	文化歴史自然散歩、己書、四季の飾り巻き寿司、子ども歌舞伎等、適切な時期をみて実施
		青少年健全育成活動	学校・家庭・地域の連携を通して、青少年の健全育成活動を推進する。	推進市民会議支部を中心に、PTAや地域諸団体と連携し、青少年健全育成活動の取り組みを行う。	なんでも塾支援、挨拶運動、夏祭り協力、成人を祝う会、見守り活動等
		高齢者学級【あじさい学級】	高齢者の生きがいつくり、仲間づくり、学習活動を支援する。	月毎に開催し、講演会、各種教室、軽スポーツ、地域探訪、研修旅行等を実施する。	軽スポーツ、陶芸、ボランティア、健康体操、芸能、歌、寄せ植え、研修視察等の実施
		なんでも塾【小学生対象】	様々な体験、学習、交流を通して、子ども達の健全な成長を支援する。	地域講師から、伝統芸能、学習、軽スポーツ、自然観察、ものづくり、農業体験等を学ぶ。	定期塾(月毎)、フリー塾(テーマ毎に1～3回)を開講
	文化	文化・芸能活動支援	蛭子座(公民館ホール)の活用を通して、文化・芸能活動の向上を図る。	芸能祭(6月)、文化展(11月)、蛭川歌舞伎公演(10月)、自主コンサート(2月)、文化団体の自主発表等に協力する。	蛭子座の積極的な活用を目指す「蛭子座友の会」と連携
		郷土資料保存伝承	文化財や遺産等の保護と後世への継承及び公開と活用を図る。	郷土資料館保存資料のデータベース化およびデジタルデータ化とその活用を進めていく。	資料館との連携、学校教育での活用、焦点化した資料の公開、発信
	スポーツ	スポーツ大会 スポーツ教室 健康づくり	様々なスポーツ活動の機会を通して健康づくりや地域の交流を図る。	体育協会・なんじゃもんじゃクラブ、体育委員会と連携し地域スポーツやレクリエーションの運営を支援する。	ひとつばたごめぐり(5月)、スポレク祭(6月)、健康づくりの日(10月)、新春マラソン(1月)、各スポーツ教室等
	運営	公民館運営委員会	地域の生涯学習としての拠点としての公民館づくりの改善を進める。	公民館の活用について地域からの声を把握し利便性を図っていく。	地域づくりの観点で、運営委員会による評価を実施する。
		情報発信	公民館の活用に関する情報を発信する。	公民館便り(年4回) 壁新聞(月毎) ホームページ(随時)	地域密着型の情報発信を心がける。